同志社大学 学生支援センター

スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室

# 案内パンフレット

2022年3月

# スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室について

同志社大学では、2021年4月にスチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（以下、SDA室）が開室しました。

身体、精神・発達等の障がいや、多様な性別や性的指向・性自認をもつ学生が、学生生活を送るうえで必要かつ適切な支援と機会を得られるよう、また学生が相互に多様な人格と個性を尊重し合いながら共生できるように、全学における協力体制の推進を目的としています。

SDA室では、様々な学生からの相談を受け付け、助言をすると同時に、ダイバーシティの推進に適う環境整備並びに施設及び設備についての提言、ダイバーシティの理解促進に関わる啓発・研修活動を行っています。

修学における支援や、障がい学生をサポートするサポートスタッフ、ジェンダーやセクシュアリティに関する相談や質問がある方は、SDA室にお気軽にお越しください。

# 同志社大学ダイバーシティ推進宣言

同志社大学は、「一国の良心とも謂ふ可き人々」の養成を掲げた創立者・新島襄の志を受け、「良心教育」を建学の精神としています。19世紀末に「良心」という訳語を与えられた英語のconscienceの原義は、「共に知る」ということです。

我々は、「良心教育」の実践による多様性と寛容に満ちたキャンパスで、異なる考え方や価値観を共に知ることにより、本学構成員が互いを理解し合い、一人ひとりを大切に思うことができる機会を創出してきました。このことは、創立10周年記念演説において、「諸君ヨ人一人ハ大切ナリ」の言葉を残した新島の思いに通じています。

上記のような建学の精神と歴史とを踏まえ、自身と異なる価値観や境遇を持つ他者を理解し、共生、共存する中で、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物を養成するため、本学は、引き続き以下の取組を行って、ダイバーシティを推進します。

1. 国籍、性別、障がい、性的指向・性自認、文化、宗教、思想信条等、様々な背景を持つ本学構成員が、共に学び、共に働くことができるキャンパスを形成します。
2. 本学構成員が、教育や研究、その他の活動の場において個々の能力を十分に発揮し、多様な人々が等しく参画できる環境づくりを目指します。
3. 合理的配慮を要する本学構成員に対する支援体制を整え、社会的障壁の除去に対する理解の醸成を促進します。
4. ダイバーシティに対する意識の啓発を推進し、あらゆる人びとの人権を尊重できるダイバーシティの視点に立った人物を養成します。

同志社大学

# 障害者差別解消法を知っていますか?

## 障害者差別解消法とは?

この法律は、障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

(注)正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。
この法律では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。
そのことによって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

## 対象となる「障害者」は?

この法律に書いてある「障害者」とは、障害者手帳をもっている人のことだけではありません。

身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人(発達障害のある人も含む。)、その他の心や体のはたらきに障害がある人で、障害や社会の中にあるバリアによって、日常生活や社会生活に相当な制限を受けている人すべてが対象です。

## 「不当な差別的取扱いの禁止」とは?

この法律では、国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの事業者(※大学も含みます)が、障害のある人に対して正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。

これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

## 「合理的配慮の提供」とは?

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき(注)に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

これを「合理的配慮の提供」といいます。

(注)言語(手話を含む。)、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

内閣府「障害者差別解消法がスタートします!」リーフレットより一部抜粋

# SDA室のサポート内容

## きくことへのサポートが必要な方

**困りごとの例**

話している内容がきこえない/きこえにくい
グループディスカッションなど議論についていけない
きこえにくさ、不便さが一見して分かりにくい
聴覚過敏があり周囲の音を取り入れすぎる

**サポートの例**

情報保障(PC通訳・ノートテイク・手話通訳)、
音声認識ソフトの利用、映像文字起こし、
消耗備品の支給(ルーズリーフ・ペン)、
ノイズキャンセリングイヤホンの使用

PC通訳

**貸出備品の例**

録音機器： ICレコーダー
PC関連　： 通訳用ノートPC一式、音声認識ソフト一式、フラッシュメモリ
その他　： 卓上ペンライト、遠隔支援機器(タブレット端末)、書画カメラ

## 見ることへのサポートが必要な方

**困りごとの例**

教材を読み取るのが難しい(教科書・プリント・板書など)
移動の際の危険察知が難しい(通学・通路上の障がい物・通行人など)
視覚過敏があり周囲の情報を取り入れすぎる

**サポートの例**

授業資料・試験問題などのテキストファイル文字校正、
拡大コピー、点訳、対面朗読、代筆、代読、
ガイドヘルプ(学内移動)、
授業補助、授業の参加方法の調整

対面朗読

**貸出備品の例**

録音機器： ICレコーダー
PC関連　： 音声認識用PC、高倍率ルーペ
その他　： 携帯型拡大読書器、携帯用点字版、単眼鏡、
卓上蛍光灯、点字タイプライター

## 動くことへのサポートが必要な方

**困りごとの例**

書く、持つ、食べる、操作する、ドアの開閉、移動などが難しい
車椅子使用の場合は、段差、斜面、道路幅などに通行上の困難があり、
バスや電車の乗り降り、トイレなどが難しい

**サポートの例**

代筆、車椅子介助(学内移動)、トイレ介助、食事介助、
駐車証発行による車両入構、ストレッチ用休憩室の利用

車椅子介助

**貸出備品の例**

録音機器： ICレコーダー
介助用　： 手動式車椅子、シャワーチェアー、
車椅子用机、ストーブ、毛布、電動ベッド
PC関連　： 記録用PC、入力補助器具

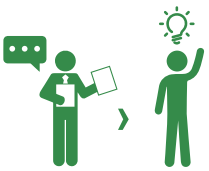
## 読み書きへのサポートが必要な方

| | |
|---|---|
| 困りごとの例 | 読字に時間を要する、書字に時間を要する<br>読み違いを生じやすい、書き違いを生じやすい |
| サポートの例 | PC筆記、代筆、<br>筆記試験の時間延長 |
| 貸出備品の例 | 録音機器： ICレコーダー<br>PC関連　： タブレット端末 |

PC筆記

## コミュニケーションへのサポートが必要な方

| | |
|---|---|
| 困りごとの例 | 抽象的な内容を理解しにくい<br>考えをまとめて言語化することが難しい |
| サポートの例 | 情報の具体的な提示、重要な情報の強調、<br>実験やグループワーク時の役割の明示 |



情報の明確化

## 注意・集中へのサポートが必要な方

| | |
|---|---|
| 困りごとの例 | 注意・集中を持続させにくい、不注意によりミスを生じやすい<br>複数の作業を同時に行うことが難しい |
| サポートの例 | 代筆、レジュメ等の再配布、<br>重要事項のオンラインによる提示 |
| 貸出備品の例 | 録音機器： ICレコーダー |

代筆

## その他へのサポートが必要な方

| | |
|---|---|
| 困りごとの例 | 疾患や疾患による体調不良により活動が制限されたり<br>同じ態勢を取り続けたりすることが難しい<br>大勢の人がいる教室に入るのが不安<br>メンタルヘルスに起因して修学上困りごとがある |
| サポートの例 | 別室受験、授業の途中入退室（オンライン授業の途中離席）、<br>ガイドヘルプ（学内移動）、駐車証発行による車両入構、<br>学内シャワールームの使用、着席場所の調整、発表方法の変更 |
| 貸出備品の例 | 録音機器： ICレコーダー、<br>介助用　： 手動式車椅子、ストーブ、毛布、電動ベッド<br>その他　： タブレット端末 |

ガイドヘルプ

# 修学における合理的配慮を受けるには

SDA室では、身体、精神・発達等に障がいのある学生が、他の学生と等しい条件のもとで科目を受講できるよう、合理的配慮について面談を通じて考えていきます。

## ①SDA室に相談

SDA室のコーディネーターが相談に対応しますので、まず電話やメールにて下記の問合せ先までご連絡ください。

## ②申請手続き

SDA室のコーディネーターとの面談にて、障がいの状況等について確認します。
面談結果に基づいて、授業を受けるにあたって必要かつ合理的であると判断した項目について、SDA室のコーディネーターが配慮提案文書を作成します。

※合理的配慮の申請手続きの際に必要な書類等
障害者手帳や診断書、心理検査の結果、専門家の所見等、障がいの症状や特性を客観的に判断できるものが必要となります。
不明な点があれば、①の際にSDA室のコーディネーターへお尋ねください。

## ③合意形成

配慮提案文書を科目担当者、及び申請者（学生）の間で確認します。
合意する配慮内容は、大学と申請者が建設的な対話を行いながら、双方に十分な共通理解を図ったうえで決定します。

## ④配慮の提供開始

大学と申請者が配慮提案内容に合意した後、可能な限り速やかに、合理的配慮の提供を開始します。配慮内容に応じて、サポートスタッフが付く場合があります。
サポートスタッフが付く場合には、別途、SDA室のコーディネーターから申請者へ説明します。

コーディネーターとの
面談の様子

ご不明な点がありましたら、下記までお気軽にお問合せください。


問い合わせ先

**学生支援センター　SDA室**

今出川校地　寒梅館1階　Tel:075-251-3273
京田辺校地　成心館1階　Tel:0774-65-7411
両　校　地　E-mail: jt-care@mail.doshisha.ac.jp


SDA室 HP

様々な支援の内容、イベントなどの様子を発信しています。
https://challenged.doshisha.ac.jp/

## 修学における支援体制について

学生支援センター、保健センター、カウンセリングセンター、キャリアセンターが連携し、それぞれの障がい学生の状況に応じて支援をしています。また、学生が所属する学部・研究科とも連携し、より効果的な支援を行います。

## キャリア形成・就職支援について

キャリアセンターでは、障がいのある学生を対象に主に次の支援を行っています。
進路について悩んでいることや困ったことがあれば、キャリアセンターを活用してください。

### 個別相談

みなさんが抱えている進路の悩みや課題について、経験豊富なスタッフがアドバイスを行います。学部1年次生から相談できます。WEBや電話でも相談できますので、気軽に相談してください。相談を希望の場合は、「e-career」から事前予約をお願いします。

### その他の支援

●インテーク面談　●障がい学生対象の求人・インターンシップ情報の提供
●障がい学生対象の就職ガイダンス　●障がい学生対象の企業説明会

### キャリアセンターHP

●対象者別ページ 「障がいのある学生」
https://career-center.doshisha.ac.jp/subject/diversity.html
●就職支援システム 「e-career」
https://e-career.doshisha.ac.jp/

障がいのある学生　e-career

問い合わせ先

**キャリアセンター**

今出川校地 寒梅館2階　Tel:075-251-3310
京田辺校地 嗣業館1階　Tel:0774-65-7016
両 校 地 E-mail: career-support@mail.doshisha.ac.jp

## メンタルヘルスに関する支援について

カウンセリングセンターでは、授業や対人関係など大学生活に関すること、自分の性格や将来のこと、家族や友人のことなど、様々な問題について相談を受け付けています。相談を通して問題を一緒に整理し、自分自身のことを理解したり、自分に合った対処方法を考えたりすることをサポートしています。必要に応じて、学内の他部署や学外の機関を紹介することもできます。
もちろん、個人の秘密は厳守されるため、安心して相談してください。

カウンセリングセンター HP
https://www.doshisha.ac.jp/students/healthcare/counseling.html

# サポートスタッフの活動

## このような活動をしています（一例）

### 障がい学生支援

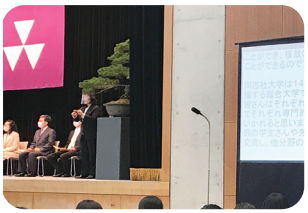
PC通訳、ノートテイク、手話通訳、映像文字起こし、
代筆、車椅子介助、ガイドヘルプ、授業補助、対面朗読など

« ガイドヘルプの様子

### 学生によるスキル向上勉強会などの実施

PC通訳、ノートテイク、映像文字起こし、車椅子介助、代筆、
テキストファイル文字校正、ガイドヘルプなどに関しての
勉強会の実施

« 勉強会の様子



### 学内行事等の企画・実施

オリエンテーション、新入生歓迎会、各学期の中間・学期末
懇談会、Challengedキャンプ、地方自治体や学外団体との
共催・協力など

« 行事の様子

## あなたもサポートスタッフとして活動してみませんか

サポートスタッフ
登録はこちら

同志社大学には、障がい学生を支えるサポートスタッフとして
活動している多くの学生がいます。
あなたも、サポートスタッフとして活動してみませんか?
SDA室では、障がい学生の立場に立ち、責任をもって活動に
取り組んでくださる方を常時募集しております。
関心のある方は、いつでもSDA室までお越しください。

## サポートスタッフの活動には謝礼が支払われます

- 謝礼は、940円／時間です。
- 支援内容によって、時間のカウントルールがかわります。
  具体的な支援活動は、PC通訳、ノートテイク、手話通訳、代筆、テキストファイル文字校正、
  映像文字起こし、点訳、資料拡大、車椅子介助・食事介助、ガイドヘルプ、対面朗読・代読、
  フォローアップ勉強会等講師等です。

# サポートスタッフの声

## 行っているサポート活動: PC通訳（文学部2年次生）

私は、入学当初、大学から送られてきたこのパンフレットで「障がい学生支援」と「サポートスタッフ」の存在を知りました。何か人の役に立てることがしたいと思い、1年生の秋学期、サポートスタッフに登録しました。コロナ禍により春学期が完全オンライン授業であった私にとって、スタッフの先輩との出会いが、大学で初めての繋がりとなりました。

2年生になってからは、主にネット配信授業の動画の文字起こしとパソコン通訳(PC通訳)を行っています。PC通訳は、動画を視聴するときのように速度調整ができないため、リアルタイムで学生や先生の言葉を文字に起こす必要があります。ペアを組む先輩と利用学生さんに助けられながら、これまで約1年間、PC通訳を続けることができました。

活動のなかで、「障がいのない人とある人=支援する人とされる人」という構造は存在しないことを実感しています。お互いに、支え、支えられながら成長できる環境が整っていること、そして、その中で活動できることを幸せに思います。

## 行っているサポート活動:代筆、文字起こし（生命医科学部3年次生）

私は、以前からずっと自分の視野の外まで気遣える人になりたいという思いがありました。そんな中でサポートスタッフの存在を知り、自分も誰かの役に立てるかもしれないという思いからスタッフ登録しました。

これまでにサポート活動や勉強会の講師など多くの経験をさせていただきました。私が携わったサポート活動には、視覚障がい学生の目の代わりとなって板書をとる代筆や聴覚障がい学生の耳の代わりとなってオンデマンド授業の音声を文字にする文字起こしなどがあります。こうした活動を通してサポートの技術や知識が身につく以外に、相手の立場になって考えることや誰かの役に立つために責任をもって活動することの大切さや必要性を体感しています。

また、サポート活動ではないのですが、ランチタイム手話では、お昼休みにオンラインで集まり、簡単な手話を学んでコミュニケーションを取る中で、手話のおもしろさに触れました。サポートを受ける側とサポートをする側という表面的な関係ではなく、人と人の繋がりの中で無理なく「誰かを支える」と「自分の成長に繋がる」を同時に叶えられることが、サポートスタッフの一番の魅力だと思います。

# サポートを受けている学生の声

## 受けているサポート内容:PC通訳、文字起こし、字幕付け

（聴覚障がい　政策学部2年次生）

私は5歳で原因不明の感音性難聴を患って以降、毎日補聴器をつけて生活をしており、普段は口話と手話で会話をしています。現在受けている支援は対面・非対面授業におけるPC通訳、オンデマンド授業における音声の文字起こしや映像の字幕付けです。支援を受けることで、聞こえる学生と同じような環境で、情報の漏れが無い満足した授業を受けることができています。

大学では自分のことは自分でアピールしていかないと周囲からの配慮を得られないことも多く、先生やクラスメイトに障がいのことを伝えて理解してもらうことがとても大切です。これは、授業でどのような支援や配慮を受けるのかということを決める際にも非常に重要になります。

本学の障がい学生支援は全国のトップランナーといわれているとおり、サポートスタッフが障がい学生のことを真剣に考え、積極的にサポートしてくれることが特徴だと考えています。

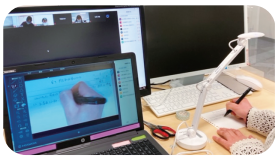
# 年間行事・イベントスケジュール

**4**
- 春学期始め・入学式
- オリエンテーション

入学式

- 春学期前面談
- 障がい学生支援説明会
- 春学期利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会
- ランチタイム手話（春学期、4〜7月）

**5**
- 新入生歓迎会


フォローアップ勉強会

**6**
- フォローアップ勉強会（春学期、5〜7月）
- 春学期中間懇談会※

**7**
- 春学期末試験

**8**
- 春学期末懇談会※
- オープンキャンパス

ランチタイム手話

**9**
- Challengedキャンプ※

- 秋学期
- 秋学期始め

Challengedキャンプ

**10**
- 複合領域科目（秋学期）
  ダイバーシティ社会における障がい学生支援を考える
  ―アクセシビリティ支援の理論と実践―
- 秋学期前面談

**11**
- 秋学期利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会
- インテーク面談（キャリアセンター）
- ランチタイム手話（秋学期、10〜1月）

**12**
- フォローアップ勉強会（秋学期、10〜12月）
- 秋学期中間懇談会※
- 障がいのある学生対象就職ガイダンス&相談会（キャリアセンター）
- クリスマス燭火讃美礼拝手話通訳（京田辺校地）
- クリスマスキャンドルライトサービス手話通訳（今出川校地）

- クリスマス燭火讃美礼拝

クリスマス燭火讃美礼拝

**1**
- 秋学期末試験

**2**
- 秋学期末懇談会※
  懇親会

秋学期末懇談会

**3**
- 卒業式
- 新学期準備集中講座

※**学期中間・末懇談会とは:** 「障がい学生」「サポートスタッフ」「他関係者」が一堂に会し、現場の声を出し合って支援の充実を図る目的で毎学期の中間時期と学期末に開催しています。

※**Challengedキャンプとは:** 障がい体験を通じて、障がいへの理解と自分自身の心のバリアと向き合うことにより心身ともに成長することを目的としたキャンプです。そこでの学びを今後の社会生活に広く活かすことを目指しています。

## 複合領域科目（2022年度秋学期開講科目）

**科目名** **ダイバーシティ社会における障がい学生支援を考える** ―アクセシビリティ支援の理論と実践―

**概要** 障がい者/学生自身、およびそれを取り巻く人と環境を「ダイバーシティ（多様性）」の視点で包括的に捉え、「組織の責務としての学びの権利保障」と、「教育機関として担うべき支援のあり方」について受講生同士が共に意見交換をしながら考察する。

**時間** 秋学期　月曜日 6 講時　　**場所** オンライン授業

# 性の多様性について

## 私たちのジェンダー・セクシュアリティは多様です

**身体的性**
解剖学的・
生物学的な
からだの状態

**性自認**
自分の性別を
どのように
認識しているのか

**表現したい性**
服装や言葉遣いなど
自分の性別を
どのように表現するのか

**性的指向**
どのような性別の
人を恋愛対象と
するか

## SOGIとLGBTQについて

SOGIとは、Sexual Orientation and Gender Identity の頭文字を組み合わせた言葉です。SOとは、Sexual Orientation（性的指向:どのような性別の人を好きになるのか）、GIとは、Gender Identity（性自認:自分の性別をどう認識しているか）をさします。性的指向と性自認は、私たち全ての人に関わる概念です。
また、LGBTQとはLesbian、Gay、Bisexual、Transgender、Questioningの頭文字を組み合わせた言葉です。

### SDA室では、様々な学生からの相談を受け付けています。

**性的指向（好きになる性）・性自認（自身で認識している性）に起因する修学・学生生活上の困りごと、不自由、不安や心配事**
例）ゼミ合宿の部屋割等についてどこに相談すればよいかわからない

**自身の性的指向・性自認そのものに関する不安や悩み**
例）もしかして、私、他の人と何かが違うかも。。。

**性的指向・性自認に起因する心理面での相談**
例）性自認について家族に話したら、受け入れてもらえなかった

**性的指向・性自認に関するハラスメント相談**
例）性的指向について友人にアウティングされたり、嫌がらせを受けている

問い合わせ先

**学生支援センター　SDA室**

SOGIに関する
相談予約フォーム

今出川校地　寒梅館1階
京田辺校地　成心館1階

**SOGIに関する専用ダイヤル**　0774-65-7413

相談を希望される場合は、できるだけ相談予約フォームで事前予約をしてください。
相談される際、皆さんのプライバシーは保護されます。安心して相談してください。

## 京田辺校地

## 今出川校地

### 同志社大学 学生支援センター
### スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室

**京田辺校地 成心館1階**

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1−3
Tel: 0774-65-7411
E-mail: jt-care@mail.doshisha.ac.jp

**今出川校地 寒梅館1階**

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
Tel: 075-251-3273
E-mail: jt-care@mail.doshisha.ac.jp



本パンフレットはユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しております。
ユニバーサルデザイン(UD)フォントとは、より多くの人へ適切に伝えられるよう、ユニバーサルデザインの視点から見やすさ、読みやすさを配慮・確認し、制作されたフォントです。

UD FONT by MORISAWA